

次世代の若手クリエイターを発掘する

第21回「1_WALL」作品募集 オンラインでの応募エントリーをスタート!

グラフィック部門	Step.1 エントリー受付	2019/5/20(月)~6/14(金)
	Step.2 作品応募受付	オンライン:2019/5/20(月)~6/14(金) ギャラリー:2019/6/10(月)~6/14(金)
写真部門	Step.1 エントリー受付	2019/7/1(月)~7/26(金)
	Step.2 作品応募受付	オンライン:2019/7/1(月)~7/26(金) ギャラリー:2019/7/22(月)~7/26(金)

ガーディアン・ガーデンでは、若手クリエイターの個展開催の権利をかけた公募展、第21回「1_WALL」の作品募集を開始します。今回からオンラインでの応募エントリーを行います。作品の提出方法は、ポートフォリオの現物提出と、ウェブサイトからのオンライン提出の二通りから選べます。オンライン提出が加わり、映像などのディスプレイに出力する作品もより応募しやすくなります。

「1_WALL」は、新しい表現を追求し続けている若い才能を発掘することを目的としたコンペティションです。グランプリ受賞者には、約1年後のガーディアン・ガーデンでの個展開催の権利と、個展制作費として30万円が支給されます。表現がますます多様化し、ジャンルの境界も曖昧になってきている現在。流行りに流されず、独自の作品を作りつづける人たちと一緒に、新しい表現を考える場になることを願っています。まだ「途中の人」で構いません。5年後、10年後を見てみたいくなるような、可能性をもった人の作品を求めています。

つきましては、周知にご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

「1_WALL」グラフィック部門 審査員

五十音順・敬称略



上西祐理 Yuri Uenishi | アートディレクター / グラフィックデザイナー

1987年生まれ。東京都出身。2010年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業、同年電通入社。現在第5CRP局勤務。今までの仕事に、世界卓球2015ポスター / テレビ東京、Laforet GRAN BAZAR 2018 SUMMER / Laforet など。



菊地敦己 Atsuki Kikuchi | グラフィックデザイナー

1974年東京生まれ。武蔵野美術大学彫刻科中退。2000年ブルーマーク設立、2011年より個人事務所。ブランド計画、ロゴデザイン、サイン計画、エディトリアルデザインなどを手掛ける。とくに美術、ファッション、建築に関わる仕事が多い。また、「BOOK PEAK」を主宰し、アートブックの企画・出版を行う。



都築潤 Jun Tsuzuki | イラストレーター

1962年東京生まれ。武蔵野美術大学卒業。1980年代から2000年代までにグラフィック系コンペや広告賞で多数受賞。2010年「ニューエイDS」、2013年「都築潤×中ザフヒデキ」を展示開催。2015年「ニューエイDS以降」検証1980-2000」開講。『日本イラストレーション史』監修執筆。NHK高校講座「美術1」監修出演。jti.ne.jp



長崎訓子 Kuniko Nagasaki | イラストレーター

1970年東京生まれ。多摩美術大学染織デザイン科卒業後イラストレーターとして書籍の装画や挿絵、映画に関するエッセイ、漫画の執筆など多方面で活動中。装画に『武士道シックスティーン』『徳男』など。女子美術大学ヴィジュアルデザイン専攻准教授。



保坂健二郎 Kenjiro Hosaka | 東京国立近代美術館主任研究員

1976年生まれ。企画した主な展覧会に、「フランシス・ベーコン展」(2013)、「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」(2016)、「日本の家 1945年以降の建築と暮らし」(2017)など。『すばる』『疾駆』等に連載を持つ他、JAGDA年鑑(2014年)や『eggBooks 95 服部一成』に論考を寄稿。

Photo by Keizo Kioku

「1_WALL」写真部門 審査員

五十音順・敬称略



沢山遼 Ryo Sawayama | 美術批評家

1982年生まれ。2007年、武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了。2009年「レイパー・ワーク——カール・アンドレにおける制作の概念」で『美術手帖』第14回芸術評論募集第一席。武蔵野美術大学、首都大学東京等非常勤講師。論文や雑誌などへの寄稿多数。



田中義久 Yoshihisa Tanaka | グラフィックデザイナー / 美術家

1980年生まれ。主な仕事に東京都写真美術館をはじめとした文化施設のVI計画、ブックショップ「POST」、「The Tokyo Art Book Fair」などのアートディレクションや、アーティストの作品集制作も定期的に行なっている。飯田竜太(彫刻家)とのアーティストデュオ「Nerho」としても活動。



野口里佳 Rika Noguchi | 写真家

1971年埼玉県さいたま市生まれ。大学在学中に写真作品の制作を始め、以来国内外で展覧会を中心に活動。近年は現代美術の国際展にも数多く参加している。1995年第5回「写真ひとつ展」グランプリ、2002年第52回芸術選奨文部大臣新人賞を受賞。2017年より沖縄県那覇市在住。



姫野希美 Kimi Himeno | 赤々舎代表取締役 ディレクター

2006年に赤々舎を設立。写真集、美術書を中心に150冊余りの書籍を刊行。第33回木村伊兵衛写真賞の志賀理江子『CANARY』、岡田敦『I am』、第34回同賞の浅田政志『浅田家』、第35回同賞の高木こずえ『MID』『GROUND』、第38回同賞の百々新『対岸』、第40回同賞の石川竜一『絶景のポリフォニー』『okinawan portraits 2010-2012』、第43回同賞の藤岡亜弥『川はゆく』などがある。2018年より大阪芸術大学教授。



増田玲 Rei Masuda | 東京国立近代美術館主任研究員

1968年神戸市生まれ。筑波大学大学院地域研究科修士。1992年より東京国立近代美術館に勤務。近年担当した主な展覧会に「ジョセフ・クーデルカ展」(2013年)、「奈良原一高 王国」(2014年)、「トーマス・ルーフ展」(2016年)など。

応募概要

[グラフィック部門]

グラフィックデザイン、イラストレーション、タイポグラフィ、オブジェなど、絵・図・文字・記号・写真などの視覚要素で構成された作品。

[写真部門]

カメラを介して写し撮ったあらゆる写真または映像作品。

[応募資格]

年齢35歳以下、個人制作であること。

[出品料金]

無料

[応募規定]

テーマ、手法は自由。指定のスペースに展示可能な作品。他のコンテストで受賞したものと及びまだ結果の出していない応募中のものは、応募作品として受け付けられません。判明次第、審査の対象から外させていただきます。但し、これまでの活動の紹介としてはポートフォリオまたはデータに含めていただいても構いません。

[グランプリ特典]

個展会場を無料貸与、個展制作費30万円支給

「1_WALL」実施の流れ

1. 応募受付

Step.1 エントリー受付: ガーディアン・ガーデンのウェブサイトから応募エントリーを行います。
Step.2 作品応募受付: ポートフォリオの現物提出、もしくはウェブサイトからオンライン提出を行います。
*詳細はガーディアン・ガーデンのウェブサイトの「応募要項」をご確認ください。 <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>



一次審査

2. 一次審査/作品ファイルまたはデータ審査で入選者30名決定

審査員と事務局によりポートフォリオレビューに参加する30名を決定します。
応募者には審査員からのコメントをお送りします。
(応募者多数の場合は事務局にてコメント送付者を選考します。)



二次審査

3. 二次審査/審査員と1対1で行うポートフォリオレビュー審査でファイナリスト6名決定

グラフィック部門 2019年7月10日(水)11:00~20:00[予定]
写真部門 2019年8月22日(木)11:00~20:00[予定]



「1_WALL」展

4. 「1_WALL」展/ファイナリスト6名によるグループ展

グラフィック部門 2019年8月27日(火)~9月28日(土)[予定]
写真部門 2019年10月8日(火)~11月9日(土)[予定]



公開最終審査

5. 公開最終審査/グランプリ1名決定

「1_WALL」展会期中、グランプリを選出するための最終審査を行います。
ファイナリストは展示作品とグランプリを受賞した際の個展プランについて、公開の場でプレゼンテーションしていただきます。ポートフォリオ、展示作品、プレゼンテーションの3要素を基に審査を行い、審査員の議論を経てグランプリが決定します。

6. グランプリ個展+制作費30万円

グランプリ受賞者は「1_WALL」展の約1年後にガーディアン・ガーデンで個展を開催することができます。
個展会場を無料貸与し、制作費として30万円を支給、チラシ制作などの広報もサポートします。
第21回「1_WALL」グランプリ受賞者個展・・・2020年6~8月[予定]